

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠



おおがき

大垣

しげる

茂



大垣 茂

色や木目などの異なる木片を組み合わせ、図案や模様を描き出す寄木細工。見る角度によって、色や模様が違って見えたり、立体的に見えたりします。

家具職人としての経験と、確かな技術を持つ大垣さんによって生み出された「鹿沼寄木」は、木本来の香りと独特の風合い、木目の美しさが光ります。

使用するのは鹿沼産杉の柾目材。年輪を垂直になるように切り出し、木目がしま模様^{しままど}に現れた柾目材は年月を経ても「くるい」が出にくく、上質な建具の材料にも使われています。

美しい木目を生かし、正確な角度で三角形や五角形、ひし形に削り、組み合わせていくのが大垣さんの寄木細工の特徴。製作には、反りや収縮など木材の性質を知り尽くした職人の高い技術が求められます。

材料選びから仕上げまで、数ある工程の中で最も難しいのは、一片の

大きさや角度を算出し製図する「寸法出し」の作業。一片の角度のズレが、組み合わせたときに大きなズレにつながります。

豊かな発想で作品を生み出す大垣さん。お孫さんとの折り紙から思い付いたクマやオルゴールなど、アイデアは尽きません。

「大切なのは作り続けること。アイデアは作りながら思い付くもの。続けるからこそ反省を生かして新しいものが生まれる。人生と同じだよ」と話します。

出来上がったものに不具合がないか、長く使ってもらえるかを常に考え、「手に取った人に大事に使ってもらえたらいいですね」と優しくほほ笑む大垣さん。

繊細な技術と思いが詰まった数々の寄木は、これからも人々を魅了します。

◆ 鹿沼寄木製作

カ 鹿沼市